



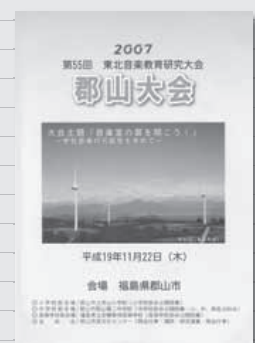
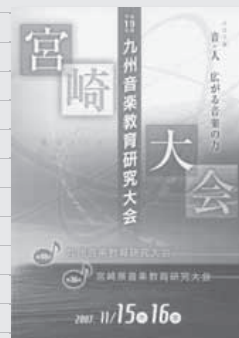
研究授業を参観して

—平成19年度音楽教育研究大会からの報告—

平成19年6月から11月までに行われた以下の音楽教育研究大会から、研究授業の題材名などをご紹介します。また、各大会に参加された先生方から「研究授業を参観して」あるいは「次期大会に向けて」という内容で原稿を寄せていただきましたので、ご紹介いたします。

[大会名一覧]

- ◇第49回近畿音楽教育研究大会兵庫大会
- ◇全日本音楽教育研究会全国大会福井大会
第10回東海北陸小中学校音楽教育研究大会
第8回福井県学校音楽教育研究大会
- ◇第49回北海道音楽教育研究大会網走大会
- ◇第49回関東音楽教育研究会新潟大会
- ◇第48回九州音楽教育研究大会宮崎大会
第36回宮崎県音楽教育研究大会
- ◇第38回中国・四国音楽教育研究大会鳥取大会
第23回鳥取県小学校音楽教育研究大会
第34回鳥取県中学校音楽教育研究大会
- ◇第55回東北音楽教育研究大会郡山大会



※題材名、授業内容、主な教材などに関する文字使いは、各大会誌に掲載されたものを基本的に使用しています。

平成19年度 第49回近畿音楽教育研究大会兵庫大会

平成19年6月22日(金)神戸文化ホール 他

大会主題：ここに響かそう音楽を ～感じよう 伝えよう 通わせよう～

■研究(公開)授業

	学年	題材・授業内容・主な教材など	授業者
小学校	4年	曲の気分を感じ取ろう 『友だち シンド バッド』	神戸市立北五葉小学校 太田典子
	5年	みんなですてきなハーモニー 『BELIEVE』	神戸市立伊川谷小学校 淡路誠子
	6年	つなごう！みんなのハートを オリジナルリズムで 『エル・クンバンチェロ』『星に願いを』	神戸市立兵庫大開小学校 兼松浩興
	4年	音をきき合って合わせよう 『茶色のこびん』	神戸市立多聞東小学校 大山由佳
	4年	黒鍵をつかってサウンドデザイン！ 『ウォーターウエイズ』	神戸市立魚崎小学校 横山佳奈
	5年	表現を工夫して アンサンブルを楽しもう！ 『オラリー』	神戸市立出合小学校 神崎悦子
	1年	日本の民謡に親しもう ～津軽民謡の演奏を通じて 我が国の伝統文化について理解を深める～	神戸市立玉津中学校 祇園大助
中学校	2年	五音で奏でる日本の音風景 ～グループによる創作活動～	神戸市立鶴台中学校 和田恵美子
	2年	鍵盤楽器の秘密に迫る ～『フーガ ト短調』の鑑賞を中心に～	神戸市立住吉中学校 行天めぐみ
高等学校	1年	私の声、見つけた！ ～声楽的でない、コンテンポラリーな ヴォーカルスタイルを目指して～	兵庫県立国際高等学校 松崎 充

奈良大会の 研究授業に向けて

明日香村立聖徳中学校教諭

松井賀洋子

毎年2学期も終わりに近づいてくると、来春成人式を迎えるかつての教え子たちが、式の余興に使う「恩師のビデオレター」の収録にやってきました。

今年も現れた懐かしい面々は、音楽室にまでやって来て、ビデオ撮影をするはずが懐メロ大会になりました。愛唱歌から合唱コンクールで歌った曲、授業で教えた曲…。次から次へと歌い続けて、それはそれはたくさんの思い出話がまるで噴き出すように音楽室にあふれました。

私の空き時間をめいっぱい使って、歌い笑い語った彼らは、最後には涙して、そして満たされて帰って行きました。音楽のもつ力の不思議さを実感した貴重なひとときでした。

1週間にたった1時間の授業しかなくても、音楽が子どもたちの中学校生活の中で果たす役割は、計り知れないほど大きなものです。

今回の近畿大会中学校部会のテーマ“この一曲に『おもい』をこめて”は、まさに私たちが日々の授業を通して追いつけるテーマでもあると思います。

この一曲で生徒の心にどう迫るか。いい音楽とよき出会いをさせてあげたいと願いつつ…（現実とのジレンマに悩みながらも）今回の研究授業に臨みたいと思っています。

次期大会information

◆平成20年度第50回近畿音楽教育研究大会奈良大会

平成20年10月31日(金)奈良県文化会館国際ホール 他

大会主題：豊かな体験 響き合う心

平成19年度 全日本音楽教育研究会全国大会福井大会 第10回東海北陸小中学校音楽教育研究大会 第8回福井県学校音楽教育研究大会

平成19年10月11日(木)・12日(金) 福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」 他

大会主題：音楽教育 そのさらなる可能性

■研究(公開)授業

	学年	題材・授業内容・主な教材など	授業者
小学校	1年	でかけよう いいおとさがしのぼうけん 『ばすばすはしる』で車や場面にあった クラクションの音を工夫する。	福井市清明小学校 水野涼子
	4年	みんなで声を合わせるってすてき！ 『Good-bye また明日ね』で、 いろいろな重なり方を味わって歌う。	福井市社南小学校 瀧波恵美子
	4年	みんなでつくろう！福井のわらべうた 福井の抑揚をもとに、 福井の四季の様子を音楽で表現する。	福井大学教育地域科学部附属小学校 寺前公恵
	5年	リコーダーで雨の物語を表現しよう 4小節の対旋律づくりを通して、 重なり合う旋律の美しさに気付く。	永平寺町立松岡小学校 山田 史
	2年	わくわくリズムにのって ことばのリズムを生かして 『山のボルカ』でリズムあそびをする。	福井市松本小学校 浅原顕子
	3年	音楽のしくみをたんけんしよう！ さまざまな曲の旋律の変化から 三部形式の特徴に気付く。	福井市清水東小学校 畑中裕子
	6年	世界の音楽に親しもう ～アフリカのリズムにのって～ グループアンサンブルでリズムの構成を工夫する。	坂井市立磯部小学校 加藤正代
	2年	2びょうしのリズムでおまつりだ 拍の流れを感じながら かけ声とリズムをつなげておはやしをつくる。	鯖江市北中山小学校 渡邊明江 高帛明子
	5年	短調のひびきを感じて 『ユーモレスク』の曲の全体像をとらえながら、 曲想の変化を味わって。	鯖江市進徳小学校 三田村真奈美
中学校	4年	なかまとつくろう！すてきなひびき 音を重ね合わせて 『茶色の小びん』のアンサンブルをつくりあげる。	越前市武生西小学校 宇野ちか
	1年	感じて生かそう！音楽の働き ～リズムアンサンブル創作を通して～	福井市藤島中学校 山本雅代
	2年	つくろう！わたしたちのミニオペラ セリフから感じ取った人物の心情を より効果的に表すメロディーづくりに挑戦する。	福井市足羽中学校 宮本正三
	2年	西洋の声と日本の声 ～グレゴリオ聖歌と謡を比較して～	坂井市立丸岡中学校 松野由美子
	3年	伝えたい！心にひびく 日本のうた 日本の歌の魅力を感じ取り、心ゆさぶる表現を探る。	福井市明道中学校 柳 博恵
	2年 3年	より豊かなハーモニーを響かせよう ～合唱表現をさらに深める異学年合同授業の創造～	鯖江市鯖江中学校 佐々木和史 藤枝美由紀
	2年	箏で描く“和の世界” ～「枕草子」を用いて～ —まとまりのある旋律創作への挑戦—	越前市武生第一中学校 栗田健一
高等学校	1年	大いなる恩寵!? 続きを自分たちで グループで独自のアンサンブルを創りあげよう。	福井県立藤島高等学校 小森保弘
	1年	合唱における表現の工夫を楽しもう 男だけの世界—音楽の諸要素や背景を理解して歌おう。	福井県立敦賀工業高等学校 岩田浩之

小学校3年生 「音楽のしくみを たんけんしよう!」を 参観して

杉並区立高井戸東小学校教諭

岡 千恵

子どもたちの心が音楽に集中している姿を目の当たりにした。音楽を聴く楽しみを広げる上で、とても大切な指導をコンパクトにまとめ、工夫が凝らされた授業であった。本時の目標は「さまざまな曲の旋律の変化から、三部形式の特徴に気付く」である。子どもたちが聴くことに集中できるよう身体表現を取り入れるなど、さまざまな指導の工夫がなされており、学習のステップを確実に踏んでいった。音楽を特徴付けている要素である「速度」「強弱」「楽器の音色」などの変化に気付きながら聴いている子どもたちの表情には、この上ない輝きが見られた。

子どもたちは速度の微妙な変化にも反応し、教師は予想以上の反応に対して学習の流れを整理する場面もあったが、これは子どもたちの集中力が高く、聴く力が付いているからこそ見られた場面である。また、楽曲を聴いて音楽的要素の変化に気付いた時点で前後にステップする活動においては、全員が同時に反応するため、全体的な見取りはできるが、本当にその子自身が感じ取ったのかという個々の見取りに関し

ては難しいという場面もあった。

聴く力を定着させるためには、各学年に応じた段階的な指導や、1時間の授業の中でも精選された指導の工夫が必要である。この積み重ねと6年間を見通した計画的な学習がとても大切であり、こうした授業1時間の中でも“音楽を心から楽しむ”ということをはたしてはならないと実感した。これからの音楽の授業の在り方を示唆する貴重な授業を参観させていただいた。

すばらしい授業に 出会えた喜び

国分寺市立第四中学校教諭
野口大介

鯖江会場での「箏で描く“和の世界”～『枕草子』を用いて～」と題された越前市武生第一中学校（授業者：栗田健一教諭）による発表を参観した。

まず授業空間が、題材名にもある“和の世界”を意識した、落ち着いていて、程よい緊張感のある「雰囲気・空気」に満ちている。その中で指導者の無駄のない的確なアドバイスを導かれ、授業が整然と展開していく。生徒は音や音楽に最大限の意識を集中することで、内的な感受の高まりが増す。創作に関する視点やアドバイスは、「終止感」「間の生かし方」「奏法の工夫」のあえて3点のみに絞り込む。そのことがいっそう高次のひらめきや工夫を



研究演奏：福井市麻生津小学校（合唱）



研究演奏：福井大学教育地域学部附属中学校（創作音楽ドラマ）

生み、作品はより質の高いものへと生まれ変わる。生徒の作品がそのまま教材になっていく創作授業の利点が最大限に生かされ、他の生徒のインスピレーションを刺激する。そして3年間を見通した題材のつながりに裏づけされ

た確固たる本時の学習目標が、生徒の実感をもって達成されていく。

見習うべきこと、学ぶことの多い、みごとな授業であった。このような授業に出会えたことに喜びを感じる。

次期大会information

- ◆平成20年度全日本音楽教育研究会小・中学校部会全国大会本部大会（東京都）
平成20年11月7日（金）
小学校部会：なかのZERO／中学校部会：国立オリンピック記念青少年総合センター
大会主題：今こそ音楽！確かな音楽科教育をめざして

平成19年度 第49回北海道音楽教育研究大会網走大会

平成19年11月2日(金)オホーツク・文化交流センター 他

大会主題：—全道共通主題— 豊かな感性をはぐくみ、生きる力を培う音楽教育

—網走大会主題— 響きあい、感じあい、伝えあい、共に感動を ～生き生きとしたオホーツクの音楽活動～

■研究(公開)授業

	学年	題材・授業内容・主な教材など	授業者
小学校	6年	豊かな表現 『U & I』	網走市立南小学校 佐藤美芸
	3年	耳をすませて 『雲においつけ』	大空町立東藻琴小学校 高橋香織
	3年	曲の感じをとらえて 『聖者がまちにやってくる』	小清水町立小清水小学校 長谷川 真
中学校	1年	アンサンブルの楽しみ 『からくり絵巻』	網走市立第一中学校 舟橋亜紀子
	1年	リズムを感じよう 生徒によるオリジナル創作作品、 キーボードのデモ演奏	網走市立第二中学校 杉田孝幸
	中1 小6	生き生きと表現しよう 『魔笛』	網走市立呼人小中学校 北畑 恵
高等学校	1年	リコーダーアンサンブルに親しもう 『ジュピター』『アメイズング・グレイス』	北海道北見緑陵高等学校 大野 光

小・中合同授業を 参観して

札幌市立向陵中学校教諭
藤本尚人

今回の網走大会では、中学校の授業が3つ公開されました。どれも興味のある授業でしたが、私は日ごろから小・中学校の交流に関心があったため、網走市立呼人小・中学校の合同授業を参観させていただきました。ふだんから同じ学校で過ごしている児童・生徒たちなので、互いに違和感がなく、パート内の話し合いやパート練習といった活動でも、中学生が上手に小学生をリードしている様子うかがえ、ともに学んでいるなあ、というのが率直な感想でした。

教材は、モーツァルトのオペラ『魔笛』の中から三重唱とその後の合唱の部分で、子どもたち用にアレンジしたものかと思われます。この時間までにオペラを鑑賞した子どもたちが、その雰囲気を出そうと、自分たちの表現をさまざまな形で工夫している様子が、パートごとの練習や、その後の合唱練習からうかがえました。題材の目標は、それぞれの校種に応じて設定されました。小学校の「曲想を生かして表情豊かに表現する」では、ある児童が体で音楽を感じ、楽しい雰囲気を出そうと、左右に体を揺らしながら歌っていました。中学生の「声部の役割を生

かし〜」では、それぞれの役割をもつ旋律が、響きのある歌声でよく表現されていました。目標の設定から実際の音楽活動に至るまで、授業者がねらう小・中のつながりに配慮された授業だったと思いました。

旭川大会に向けて

旭川市立知新小学校教諭
早坂昌俊

オホーツクの海の香りあふれる網走市での研究大会。授業そして研究演奏では「響きあい、感じあい、伝えあい、共に感動を」のテーマのもと、生き生きとしたオホーツクの音楽活動を見せていただきました。

小学校会場の6年生歌唱「豊かな表現」の授業では、佐藤美芸先生の指導のもと、グループごとに『U&I』をどのような気持ちをこめて歌いたいかについて話し合い、その表現方法をそれぞれ練習しました。6年生の子どもたちが目を輝かせ声の響きを感じながらとても意欲的に歌っている姿は、佐藤先生の日ごろの学級経営と音楽の指導のたまものであると感じました。子どもたちが歌詞の内容から「夢に向かって明るく」といった歌にこめたい思いや願いをしっかりとって活動する様子は印象的でした。

今大会は網走地区の先生方が一丸となって作り上げたという熱意が伝わっ



網走市立南小学校6年生の研究授業より

てくるものでした。わたしたち旭川では、来年度の旭川大会に向けて「つながる ひろがる ひびきあう」をテーマに準備を進めています。15年度の全国大会での成果、そして今年度の網走大会での成果を生かし、今後さらに子どもたちの感性を高める音楽教育を目指していきたいと思います。

次期大会information

◆平成20年度第50回北海道音楽教育研究大会旭川大会

平成20年10月9日(木)・10日(金)旭川市民文化会館

大会主題：つながる ひろがる ひびきあう ～ともにいこう 感動をよぶ音楽探しの旅へ～

平成19年度 第49回関東音楽教育研究会新潟大会

平成19年11月9日(金)リゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 他

大会主題： 思い ふくらめ♪ ひろがれ 音楽♪ ～聴いて・感じて・工夫して 自ら表現する音楽学習を目指して～

■研究(公開)授業

	学年	題材・授業内容・主な教材など	授業者
	1年	ようすをおもいうかべて ～わたしたちのあさが音楽会をしよう～	新潟市立浜浦小学校 谷川玲子
小学校	5年	いろいろなひびきを味わおう ～『白鳥』で弦楽器の音色を聴き比べよう～	新潟市立浜浦小学校 岡田優子
	4年	曲の気分を生かしてPart4 ～ふしの重なり合いを楽しみながら歌おう～	新潟市立白山小学校 中村 香
	6年	音楽で思い出を描こう ～アンサンブル DE よるこびの歌～	新潟市立新潟小学校 中川法子
	2年	みんなであわせてたのしもう I ～音楽アイランドで音楽のたし算①～	新潟市立上所小学校 江口陽子
	5年	二部合唱を楽しもう ～声を重ね心をつなぎ歌おう「友情の歌」～	新潟市立小針小学校 増村恵美子
中学校	2年	尺八の音楽にひたろう	新潟市立関屋中学校 小田節子
	2年	歌おう！ みんなの“モルダウの流れ”を	新潟市立寄居中学校 二瓶龍太郎
	1年	バレエ音楽の魅力を感じ取ろう	新潟市立新津第五中学校 相馬直子
	3年 選択	Let's sing "gospel song"! ～ゲストティーチャーとの出会いを通して～	新潟市立白根北中学校 古市 茂
	2年	私はヒット曲メーカー	附属新潟中学校 宮下秀樹

4年生

「曲の気分を生かして Part 4

～ふしの重なり合いを
楽しみながら歌おう～」
を参観して

川崎市立富士見台小学校教諭

内田 薫

「鑑賞活動から感じ取ったことをどのように表現活動に生かしていくか」という視点から授業を参観させていただきました。

鑑賞教材『きゆう友』を聴く活動では、ふしの重なりがよくわかる部分を何回も繰り返し聴かせるなど、ねらいのはっきりした鑑賞方法が参考になりました。そのことにより子どもたちは二つのふしの特徴をしっかりとらえ、ふしの重なり方や音量のバランス、それぞれのふしを演奏している楽器の音色、ふしの役割などを感じ取って聴くことができました。

そして感じ取ったことをパートナーソングの歌い方に生かそうという目的でグループの活動に入りましたが、ここではリーダーを中心に子どもたちが熱心に話し合いを進めていました。「二つのふし、どちらも大切にしたい」「はずんだ感じのほうを主なふしにしたい」など、自分がどう表現したいのかを考え、友達に伝えている様子から、主体的に音楽とかがわり、互いに高め合っ



新潟市立白山小学校4年生の研究授業より

ている姿を見取ることができました。また、子どもたちの発言から、鑑賞が表現に生かされている様子も伝わってきました。一歩進めて、鑑賞から重なり合う響きの美しさへの感想を引き出せれば、歌声の豊かさへの工夫にもつながっていきけるのかなとも感じました。

自分たちで音楽を作り上げようとしている子どもたち、そんな子どもたちを育てていらっしゃる中村先生の御指導に、「行ってよかったな、新潟。」と思える大会でした。ありがとうございました。

う題材であった。『たね たね そうっと』を歌う子どもたちは、思いのこもった歌声を響かせていた。教師の効果的な働きかけや場の設定、指導法を工夫すれば1年生でも創意を生かして音楽づくりを楽しむことができることに感心させられた。午後の記念コンサートでは、学校教育に加えて社会教育におけるさまざまな音楽活動が披露され、みごとな演奏を繰り広げた。新潟市の取り組みのすばらしさを痛感した。

平成20年度は埼玉大会となり、10月24日（金）にさいたま市を会場と

して実施される。第50回という節目であり、新学習指導要領が示された直後の大会となる。現在、中教審芸術部会資料及び中間まとめを踏まえて実践し、研究を進めている。

研究主題は、「音楽との新しい出会いを求めて」とした。音楽教育が豊かな心を育てることに加えて、子どもたちの知的好奇心を満たしつつ、大きな満足感を与えるという、確実に自分たちの音楽的な成長のわかる音楽の学習を目指している。多くの皆様の参加を心からお待ちしている。

音楽との新しい出会いを求めて

川口市立芝南小学校校長
寺島高志

私は、新潟市立浜浦小学校で、音楽集会と1年生、5年生の公開授業を参観した。生活科との関連を図り、あさがおを育てた思いを表現する「わたしたちのあさがお音楽会をしよう」とい

次期大会information

- ◆平成20年度第50回関東音楽教育研究会埼玉大会
平成20年10月24日（金）さいたま市文化センター
大会主題：音楽との新しい出会いを求めて

平成19年度 第48回九州音楽教育研究大会宮崎大会 第36回宮崎県音楽教育研究大会

平成19年11月15日(木)・16日(金)宮崎県立芸術劇場 他

大会主題：音・人 広がる音楽の力

■研究(公開)授業

	学年	題材・授業内容・主な教材など	授業者
小学校	1年	おんがくでおはなし 『サラダでげんき』	宮崎市立江平小学校 田代祐子
	4年	様子を思いうかべて 『もみじ』	宮崎市立江南小学校 村橋千寛
	6年	日本の音楽を味わおう 『春の海』	宮崎市立宮崎西小学校 郡司智恵
	2年	気分をかんじて 『ジェットコースター』	宮崎市立住吉南小学校 菊池美穂
	3年	世界の歌めぐり 『マンガ二雨とおどろう』	宮崎市立檜北小学校 黒木朋子
	5年	豊かな表現 『ハローシャイニングブルー』	宮崎市立住吉南小学校 堀 由美子
中学校	1年	声の不思議 声の魅力 『魔王』	宮崎市立宮崎中学校 金本志秀
	2年	日本音楽に親しもう ～篠笛の美しい響き～ 『さくら』	宮崎市立檜中学校 宮永典子
	3年	アカペラの響き 『歌え 歌え!!』	宮崎市立宮崎西中学校 牧原希光子
高等学校	1年	パイプオルガンの世界 『トッカータとフーガ』	県立宮崎北高等学校 竹村新吾
特別支援学校	小学部 5・6年	音楽を楽しもう	県立清武養護学校 日高まり子

中学校3年 「アカペラの響き」 を参観して

熊本県菊池市立泗水中学校教諭

松岡 聡

少し緊張感が漂う授業のスタートは、合唱コンクールで歌った『未来』。伸びやかな歌声。宮崎の秋の天高く広がる青空にもまして明るく爽やかに、本当にクラス合唱かな?と思うくらい美しい合唱を聴かせてくれた。特に男子の声がいい。

本時のめあては「強弱を工夫して表現を豊かに」。教材は橋本祥路作曲の『歌え 歌え!!』。合唱後、先生から今日の課題が示された。生徒は真剣に考え、意見を出した。拡大楽譜に意見を集約し、パート練習に入った。パートリーダーの的確な指示のもと、強弱のみならず言葉の表現なども工夫し合い、真剣に歌う。学習の素地が確立され、人権感覚豊かに活動が展開された。ふだんから歌うことの喜び、楽しさを満喫しているのだろう。ゆとりあるパート練習で、先生の助言も受け入れながら充実した練習が続いた。

最後に全員で合唱し、さらに選出された4人による重唱を聴かせてくれた。一人一人の歌唱力や音楽性が豊かで、ほかの生徒たちは「自分もあんなふうに歌えるようになりたい」と思ったことだろう。指名されてもしりごみする

ことなく歌い、互いに感動し合える環境。日ごろの授業が大切にされている証だと感じた。理論より歌声。理論も大切だが、その前に音楽だと痛感した授業であった。

鹿児島大会に向けて

鹿児島大学教育学部代用附属
鹿児島市立田上小学校教諭
福留健之

「音・人 広がる音楽の力」を大会主題に、九音研宮崎大会が行われた。各校種ごとの研究主題にも系統・発展性があり、生涯にわたって児童・生徒に音楽を愛好してほしいという強い思いを感じた。宮崎市立住吉小学校を会場に行われた公開授業は、まさにそれが具現化されたものだった。歌詞や音楽から感じたことを、楽器で自由に表現して楽しむ2年生。民族楽器のジャンベを慣れた手つきで操り、自分で考えたリズムを表現し合う3年生。洗練された歌声で意欲的に歌唱表現を追究する5年生。いずれも、日ごろの授業の充実ぶりが想像できた。子どもの語彙の豊富さは、まさにその好例である。音符や記号の名前をはじめ、曲の特徴や雰囲気を表す多くの言葉をごく自然に使いながら、自分たちの表現を追究していた。音楽のよさを共有したり、その表現をさらに追究したりしようとすると、言語の果たす役割はたい



宮崎市立宮崎西中学校3年生の研究授業より

へん大きいと感じた。

さて、「広がれイメージ 伝われおもい」という大会主題で、平成20年11月に九音研鹿児島大会が行われる。記念講演には、大会主題にふさわしい活動をしておられるアーティストの方を

お招きする予定である。新学習指導要領の実施に向けた動きも話題になるだろう。錦江湾と桜島に臨む主会場に多くの音楽教師が集い、これからの音楽教育が熱く語られることを願っている。

次期大会information

◆平成20年度第49回九州音楽教育研究大会鹿児島大会
平成20年11月13日(木)・14日(金) 鹿児島市民文化ホール第1
大会主題 : 広がれイメージ 伝われおもい

平成19年度 第38回中国・四国音楽教育研究大会鳥取大会 第23回鳥取県小学校音楽教育研究大会 第34回鳥取県中学校音楽教育研究大会

平成19年11月16日(金)米子市文化ホール 他

大会主題：「音楽っていいな！」～つなげよう心を 音楽で～

■研究(公開)授業

	学年	題材・授業内容・主な教材など	授業者
小学校	1年	リズムにのってあそぼう ことばあそび、『てをたたきましよう』	米子市立車尾小学校 矢野夏美
	2年	リズムをくみあわせてあそぼう リズム遊び	米子市立車尾小学校 遠藤文子
	3年	音色のちがいをかんじとろう 『ボレロ』『ケンタッキーの我が家』	米子市立車尾小学校 古山泰子
	4年	声を重ねて歌おう 『もみじ』	米子市立車尾小学校 鳥羽浩美
	5年	お話の音楽をつくろう 『藤内ギツネ』	米子市立車尾小学校 河本里美
	6年	曲想を感じ取って演奏しよう 『広い空の下で』	米子市立車尾小学校 糀 由佳
中学校	2年	工夫する楽しさを感じて歌おう 『ふるさと』	伯耆町立岸本中学校 岩井祥子
	2年	箏の特徴を生かして 音楽づくりをしよう 『さくらさくら』	米子市立東山中学校 福田みどり
	1年	イメージと音楽 『フライング・テーマ』『カヴァティーナ』	米子市立福米中学校 田中晋造
高等学校	2年	ア・カペラの響きを求めて 『わたりどり』	鳥取県立米子東高等学校 長富陽一

鳥取大会に参加して

広島市立亀山中学校教諭

林 晶子

今、私が関心をもっていることの一つに、評価の観点である、「音楽的な感受」と「鑑賞の能力」を、鑑賞領域においてどう見取り評価していくかということがある。今回、そういう思いから「鑑賞」の分科会に参加した。

公開授業は福米中学校の田中晋造先生の「イメージと音楽」である。体育祭のスライドショーを生徒が観て、その映像から受けた印象について感想を述べる。その後、映画音楽の『ロッキー3のテーマ』と『カヴァティーナ』という雰囲気のもまったく違う2曲を、さきほどと同じ体育祭の映像とともに聴き、その曲が個々のイメージに合うとか合わないと感じるのは何によるものなのかを考えながら、曲想を生み出している諸要素を整理していくという内容であった。生徒たちが身近な体育祭の映像を食い入るようにつめながら、自分のイメージに合う音楽を探っている様子が印象的であった。生徒が意欲をもって学習できるよう、田中先生が映像の選定・編集と選曲の両方に膨大な時間をかけ、苦勞して準備されたのであろうということと、平素からよりよい音や映像に心を砕かれているのであろうということがうかがえた。

今回は「感じたこと」と「気づいた



米子市立車尾小学校3年生の研究授業より

こと」を区別して質問されることが初めてだったようで、生徒がまだ慣れていないため、説明に時間をとられていた感がある。生徒たちも慣れれば、同じ時間の中でもっと多くの気づきを出せるようになると思うが、田中先生は生徒から出た気づきを、その場で実際に音で確認されていた。このように、発表することによって気づきを共有するとともに、音そのものでも気づきを共有していたのはとても大切なことだと思う。ただ、先生が示された「音楽の要素を表すキーワード」へと生徒の気づきを結び付けていくためには、もっと多くの「気づき」が必要であり、音で確認するための時間を調整するのが非常に難しかった。

研究協議は、高知市立朝倉中学校の石川雅啓先生の「生徒の意欲を高める視聴覚教材の研究」と、大山中学校の富田敦司先生の「本県の鑑賞領域の学習における課題解決に向けた取り組み」の2つの研究発表の後、田中先生の公開授業についても含めて行われた。石川先生の発表は、田中先生の授業における教材選定・作成などの観点で共通

点があった。

続く富田先生の発表は、個人的に非常に興味のある内容であった。鳥取全県にわたるアンケート調査による実態の把握と分析結果から、鑑賞領域の学習における一番の課題は「指導方法の工夫・改善」であることが明らかとなり、多くの先生方が悩んでいることとして、この領域での評価について、評価規準や判断基準の設定が難しいということが挙げられていた。

これらの結果を踏まえ、「目指す生徒像」として「進んで鑑賞活動に参加することができる生徒」「音楽のよさや美しさを実感し、生涯にわたって音楽とかかわろうとする生徒」「主体的に豊かな音の空間を創造する生徒」の3つを挙げ、学習のねらいに迫るための教材を開発するとともに、「目指す生徒像」を具現化するための実践事例の収集・検討が進められた。その結果

として授業実践の事例集をまとめるといふ地道な研究について、鳥取県の先生方の大きな力が感じられる報告だった。しかし、研究発表2つと公開授業の協議を合わせて1時間40分という設定であり、協議が田中先生の視聴覚教材の選定・編集・作成に関することに集中したため、時間不足の感が否めなかった。もう少し時間があれば、ねらいと指導方法、そして評価という側面からも協議できたのではないかと思った。

研究は、すべて生徒へ返していくためのものである。今回、「評価の観点」に迫るまでには至らなかったが、鳥取県の先生方の情熱とパワーが伝わってきて、今後、さらに自分の研究を進めていく元気をもらった気がする大会であった。

次期大会information

◆平成20年度第39回中国・四国音楽教育研究大会香川大会

平成20年11月14日(金) 三木町文化交流プラザ 大ホール

大会主題：感じる心 響き合う喜び

平成19年度 第55回東北音楽教育研究大会郡山大会

平成19年11月22日(木)郡山市民文化センター 他

大会主題：「音楽室の扉を開こう！」—学校音楽の可能性を求めて—

■研究(公開)授業

学年	題材・授業内容・主な教材など	授業者
小学校	2年 いい音を見つけてあそぼう 音さがし、『かぼちゃ』	郡山市立明健小学校 大和田恭子
	3年 いろいろな音のちがいを かんじとろう 『おかしのすきなまほう使い』	郡山市立柴宮小学校 梅宮安津子
	4年 ふしのとくちょうを感じ取ろう 『陽気な船長』『オーラ リー』	郡山市立芳賀小学校 高野 淳
	5年 ぼくたち・わたしたちの お囃子をきいて！ 芳山小のオリジナルお囃子	郡山市立芳山小学校 佐々木洋子
	5年 重なり合う音の美しさを 感じ取ろう オリジナルソングを作ろう！(発展教材)	郡山市立朝日が丘小学校 久野由美子
	6年 音や音楽でえがこう 星空の音楽～みんなで創ろう広がり ある音空間～『星の世界』『星空はいつも』など	郡山市立橋小学校 原竹俊子
中学校	1年 創作をしよう リズム創作、小品創作	郡山市立郡山第一中学校 伊藤千佳
	2年 豊かなハーモニーを目指して ～さまざまな合唱の響きを味わおう～ 混声合唱『ふるさと』『未来』 女声合唱曲、男声合唱曲	郡山市立安積中学校 佐藤美奈子
	3年 選択 歌舞伎に親しもう 歌舞伎『勘進帳』	郡山市立郡山第二中学校 芳賀紀美江
	2・3年 選択 和楽器の魅力(三味線・箏の演奏) 『さくらさくら』	郡山市立御館中学校 白石博美
高等学校	1年 音楽の構造を考えよう —統一と対照— ～創作活動と鑑賞活動の関連を通して～ 生徒による創作作品	福島県立安積黎明高等学校 星 英一

小学校高学年の 授業を参観して

弘前市立堀越小学校教頭

大高 僚

「音楽による街づくり」「東北のウィーン」「全国へ響きわたる音楽都市」などの言葉が街のあちこちに見られる。駅前通りを歩くと、バス停付近に置いてあるベンチの背もたれにまで、五線譜に描かれたト音記号と八分音符。さすが「郡山」。

高学年の授業を2つ参観した。「グループごとの練習をつなげてみたい」という子どもたちの思いを大切にした授業。そして、軽快なテンポと満面の笑顔でやり取りを交わしながら、どんどん子どもたちをその気にさせていった授業。自分たちの思いを大切にされたり、熱中できる音楽環境を提供されたりした子どもは、笑顔がすばらしいしきつと音楽好きにもなるだろう。

会場に入りきれないほど大勢の参加者と協議時間50分の分科会。子どもたちのあのすばらしい活動は、どのような環境の中で、何をどう積み重ねてきたものなのか。あるいは、授業に至るまでの取り組みや苦労話についてなどなど、もっと聞きたかったという思いが残る。

「豊かな市民生活を意識しながら日々の音楽の授業をつくりあげたい」と掲げているだけあって、学校における音

楽教育が街ぐるみの支援体制とともに
絶妙なハーモニーを奏でながら、すば
らしい成果を上げていた。



郡山市立朝日が丘小学校5年生の研究授業より

大崎大会に向けて

宮城県大崎市立西古川小学校校長
齋藤順子

まだ11月中旬だというのに小雪の
舞い散る中、東北音研郡山大会が開催
されました。

教育関連3法が成立し、音楽教育に
おける改革の方向性が示された今、そ
れに向かった取り組みが感じられまし
た。伝統音楽を大切にしてお囃子づく
りに取り組んだ授業、和音の響きを生
かしてリズムや旋律づくりなどの創作
活動に取り組んだ授業、星空のイメー
ジを生かす音色の表現に取り組んだ授
業を参観しましたが、どの児童も音楽
の基礎・基本がしっかりと身に付いて
おり、楽しく創造的な表現を目指す姿
に感動させられました。

また、午後からの研究演奏では、小
・中・高等学校ともにすばらしい響き
の合唱や弦楽合奏に、「東北のウィーン」
といわれる郡山の層の厚さと音楽活動
の奥深さを感じました。特に、締めく
くりに行われた会場をも巻き込んだ全
体合唱『大地讃頌』は圧巻でした。音
楽のすばらしさに包まれ、余韻に浸り
ながら郡山を後にしました。関係者の
皆様に厚く感謝申し上げます。



閉会行事より

さて次年度、宮城県加美町中新田バ
ッハホール周辺を会場とし、「楽しも
う 音楽～音楽の心を感じ学び合いそ
して豊かな表現へ～」というテーマで
東北音研大会大崎大会の開催が予定さ

れており、現在その準備を進めている
ところです。どうかたくさんの方々が
ご参加くださいますようお願い申し上
げます。

次期大会information

- ◆平成20年度第56回東北音楽教育研究大会大崎大会(小・中学校)
平成20年10月31日(金)加美町立中新田中学校、中新田パッハホール(加美町中新田文化会館)
 - ◆平成20年度全日本音楽教育研究会高等学校部会全国大会宮城大会
平成20年10月30日(木)・31日(金)中新田パッハホール(加美町中新田文化会館)
- 大会主題：楽しもう 音楽 ～音楽の心を感じ 学び合い そして豊かな表現へ～